

2011年9月1日

日本郵政株式会社

昭和39年、小銭を握って切手を買ったあのころ。1964年、少年だった君へ。

特別展「昭和レトロと郵便展～切手少年のいた時代～」の開催

開催期間 / 2011年9月17日(土)～12月18日(日)

休館日 月曜休館(月曜が祝日、振替休日の場合は翌火曜)

場所：逓信総合博物館 主催：日本郵政株式会社

逓信総合博物館(所在地：東京都千代田区大手町2-3-1)では、2011年9月17日(土)から12月18日(日)まで、特別展「昭和レトロと郵便展～切手少年がいた時代～」を開催します。

「昭和」という時代は、戦後の復興から高度成長期に至る時代の変化に対応するように、郵便のシステムにおいても多くの変化が生じた象徴的な時代でした。郵便差出箱1号(丸型)が登場し、人気切手を集める少年たちによって空前の切手ブームが到来しました。少年たちは切手を通じて広い世界を知り、郵便や手紙に暖かさや懐かしさを感じた時代と言えるでしょう。

そこで本展では、高度成長期の昭和30年代、中でも東京オリンピックが開催し、東海道新幹線や高速道路の開通、そして当館が開館した1964(昭和39)年を軸に、昭和の郵便局や丸型ポストのある街角を再現するほか、昭和のくらしや遊びを組み合わせることで三世代が楽しみながら「懐かしい日本の郵便」を感じる展示と催しを実施します。

展示の一例



昭和30年代後半のポストマン(東京・代々木)



東京オリンピックのころの記念切手

展示構成

昭和 39 年ごろの街並みや郵便局を再現し、切手少年がいた時代のくらしを振り返ります。

1 切手が写す昭和 30 年代ニッポン

東海道新幹線の開通、東京オリンピックの開催・・・昭和 30 年代を切手原画で紹介。

2 昭和レトロのまち

懐かしい駄菓子屋などの商店や郵便局のある街並みを再現。昭和のくらしも紹介。

3 昭和のはたらく郵便車

昭和に活躍したトラック、スクーターなどの郵便車（模型等）や自転車を展示。

4 くらしの中の切手ブーム

昭和 39 年、グリコのおまけで火が付いた空前の切手ブームを人気切手とともに紹介。

同時開催 企画展

1 スタンペックス 2011 面白い切手のコレクション展

明治時代の匱作切手や軍事郵便、航空切手など名古屋・関西・岡山の有名コレクターのサブ・コレクションが一堂に集結。コンペディションの切手展ではお目にかかれない珍品や面白いコレクションです。

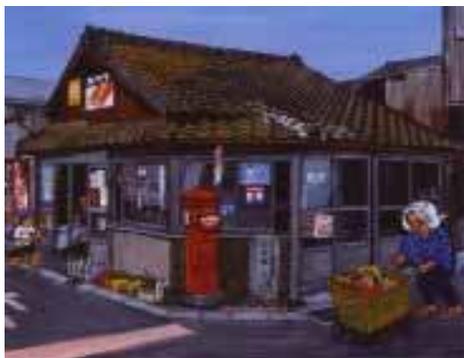
第 1 部 9 月 17 日（土）～9 月 19 日（月・祝）

第 2 部 9 月 21 日（水）～9 月 25 日（日）

2 画家 斎藤吾郎の世界「昭和の収集コレクションと丸型ポストのある街並み」

斎藤氏は、フランスのルーヴル美術館で「モナ・リザ」の模写を公式に許可された初の日本人画家。また、赤を基調にした作品や郷土三河地方をテーマにした作品で広く知られています。今展では、斎藤氏の作品に多く登場する丸型ポストを描いた作品を集めた企画展を開催します。

併せて、斎藤氏が収集する昭和の切手や生活雑貨のコレクションをご紹介します。



丸型ポストのある菓子店 2008 年



黄望のポスト 2011 年

宮城県大崎市にある「幸福の黄色いポスト」を描いた作品

3 「起こし文」作家 山岡進の世界「起こし絵・起こし文 昭和の街角」

山岡氏の生み出す紙の素朴さを生かし、手紙に和と四季を折り込む独自の「起こし文」は、下町に息づく人情味と職人技をこよなく愛する中で紡ぎ出された作品です。国土交通省観光庁主催の「魅力ある日本のおみやげ 2011」のグランプリを受賞した「街並はがき」のほか立体絵画「起こし絵」を集めた企画展を開催します。



街並みはがき「書店」「長屋」



起こし絵「小机邸」

山岡進オフィシャルサイト「和の仕掛絵手紙+山岡進の情報箱」

http://web.me.com/okoshibumi/okoshibumi/top_okoshibumi.html

イベント等詳細は、当館HPイベントスケジュール(<http://www.teipark.jp/event/event.html>)をご覧ください。

以上

逓信総合博物館(ていぱーく) 概要

住 所：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-1
アクセス：地下鉄「大手町駅」下車 A4・A5 出口すぐ
東京メトロ：丸の内線、半蔵門線、東西線、千代田線
都営三田線
JR「東京駅」下車丸の内北口より神田方面へ徒歩 10 分

入館料：個人 大人 110 円 / 小・中・高校生 50 円
団体 (20 名以上) 大人 50 円 / 小・中・高校生 25 円
(小・中・高校生のみ日曜・祝日は無料)

休館日：月曜休館 (月曜祝日の場合は火曜休館) 年末年始

会館時間：9:00 ~ 16:30 (入場は 16:00 まで)



逓信総合博物館は 1902(明治 35)年、万国郵便連合(UPU)加盟 25 周年記念祝典行事の一環として誕生した「郵便博物館」から始まり、100 年以上の歴史を誇る博物館です。当館は、「情報通信関係の博物館」であり、関係資料の収集、保存、展示、調査研究などの活動を通じて郵政・電気通信などの各事業の啓発及び普及を図ることを役割としています。現在は、日本郵政株式会社・東日本電信電話株式会社 (NTT 東日本) が共同で運営しています。

【お問い合わせ先】

日本郵政株式会社郵政資料館
電話：(03)3244 - 6821
担当：井村